

民生環境水道常任委員会行政視察報告書

石野純子

○愛知県刈谷市

高齢者支援の取組について

【所見】

高齢者配食サービスと聞いて、高齢者の栄養状態が守られる素晴らしい取り組みに感銘を受けました。私が現場で経験した高齢者の中には、食事の準備が困難であるため栄養不足に陥ったり、認知症が進んだ方などがおり、さらには食事は貴重なものとして、タンスにしまい込んでいる方もいました。配食スタッフによる訪問は、安否確認にもなり、お声掛けなどにより食事は配達されるという安心感と、社会的孤立感の軽減にもなり、遠くに住んでいる家族の負担軽減などの副次的な効果も見られています。

また見守りが必要な高齢者や病気療養目的などで食事に配慮が必要な高齢者には、低カロリー・減塩食・腎臓病食、透析食、やわらか食、ムース食まで対応することが出来、本当に素晴らしく、病気になっても安心して暮らせる刈谷市として、高齢者の意思を尊重し、安心して同じところで暮らせるまちづくりに取り組んでいました。

高齢者交流プラザひまわりの事業は、健康に関するセミナーを受けることにより、高齢者の健康維持や、生活の質の向上に寄与しています。

今後ますます高齢化が進み、団塊の世代の方たちが後期高齢者になってきますので、本市でも、安心して老後を送れる足利にと、市民目線に立ったことを再認識した初めての視察でした。

○愛知県豊田市

衛星画像とAIを活用した漏水対策について

【所見】

人口減少で水道事業の収入が減る中、全国で初めての取り組みとして、衛星画像と最新のAI技術を導入し、水道管の漏水対策を行っている豊田市を視察し、学ぶことができました。

山村地域と藤岡地区の一部で衛星画像の解析による水道管の漏水調査を実施し、259か所の漏水を発見しました。AIによる画像解析の精度

を高めることで、漏水可能性区域の範囲を縮小し、漏水的中精度を向上させました。この実証実験では、249の漏水可能性地域を判定し、そのうち約6割で漏水が確認されました。豊田市は、今後も衛星画像とAIを活用した水道管の漏水対策を継続し、漏水を未然に防ぎ市民の生活を守っていました。

足利市でも、丸紅株式会社との契約は結んでいるとのことであり、AIの予測で漏水個所を効率的に発見できれば、財源が限れる中、優先順位をつけながら水道管の更新を進められ、出水不良や道路陥没などに二次被害の早期抑制も期待できるので、今後の改革に期待します。